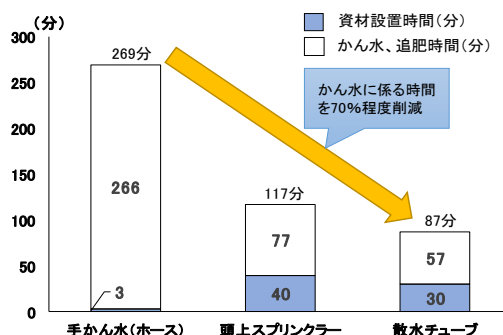


タマネギの効率的なセル成型苗の育苗方法

タマネギは水田への導入が進められている品目の一つです。しかし、タマネギは育苗期間が長く、かつ10aあたりの栽植本数が多いため、セル成型苗の育苗に多大な労力がかかることが作付面積の拡大を制限しています。そこで、福島県農業総合センターでは、簡易な資材を用いた効率的な育苗方法を開発しましたので、その概要を紹介します。

☆ 技術の概要

1. タマネギの育苗に適する省力的な追肥は、窒素成分 10%の資材を所定の倍率により 10 日間隔で施用する方法である。
2. 頭上スプリンクラーまたは散水チューブをタイマーと組み合わせて使用することで、自動かん水が可能となる。また、これらのかん水資材を用いて液肥をかん水同時追肥することで、育苗時のかん水および追肥に係る作業時間を、慣行の手かん水より 70%程度削減することができる(図1)。
3. 本技術を用いて育苗した場合でも、手かん水と同等の生育、収量を確保できる。
4. 頭上スプリンクラー、散水チューブは、資材費が比較的安価であり、給水設備が整った施設であれば導入可能な技術である(表1)。



図

1 タマネギ育苗時のかん水および追肥に

係わる作業時間の比較 (2019年)

表1 タマネギ育苗時に用いるかん水資材の導入費 (2019年)

かん水方法	初年度資材 購入費用(円)	1年当たり の資材費(円)	資材名および資材の使用可能年限
頭上スプリンクラー	47,565	7,523	スプリンクラー資材、タイマー、エンジンポンプ、配管資材等(7年)、ホース等(2年)
散水チューブ	35,926	5,844	散水チューブ(3年)、タイマー、水中ポンプ、配管資材等(7年)、ホース等(2年)
手かん水(ホース)	21,180	4,447	水中ポンプ(7年)、ホース等(2年)

※ 1年当たりの資材費は、() 内に示した各資材の使用可能年限から算出した

※ セルトレイ 60 枚 (本圃での苗数 10a 分相当) 育苗時を想定して算出した

☆ 活用面での留意点

1. 育苗施設内の環境、天候、水圧等の状況によって散水ムラが生じる場合があるため、状況に応じてセルトレイの配置換え、かん水時間、回数等を調節する必要があります。
2. 液肥混入により、かん水資材が目詰まりする可能性がありますので、追肥後は資材内部に水を流すなどし、よく洗浄します。
3. 詳しいことは、福島県農業総合センター作物園芸部野菜科 (TEL:024-958-1724) までお問い合わせください。

(日本政策金融公庫農林水産事業本部 テクニカルアドバイザー 吉岡 宏)